

## データ格納方法の比較

表 USER メモリバンクへの格納方式

格納方法	概要
①DI 方式 (No-Directory 方式)	全てのデータセットが連続しているという様式でデータの前にデータを意味する識別子を添付する方式
②Packed Object 方式	インデックス構造のフォーマット・データを使用した統合的なコンパクションおよびエンコーディングの仕組み
③Tag Data Profile 方式	データ要素とデータ長を定義した固定セットの様式に則ったインデックス構造を持つコンパクションおよびエンコーディングの仕組み

### 各格納方式の概要図

#### ①DI 方式

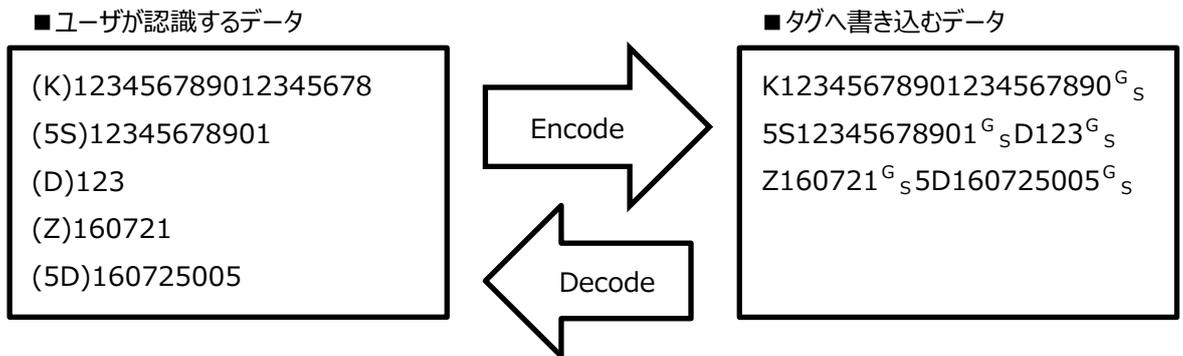


図-1. DI 方式の概要図

#### ②Packed Object 方式

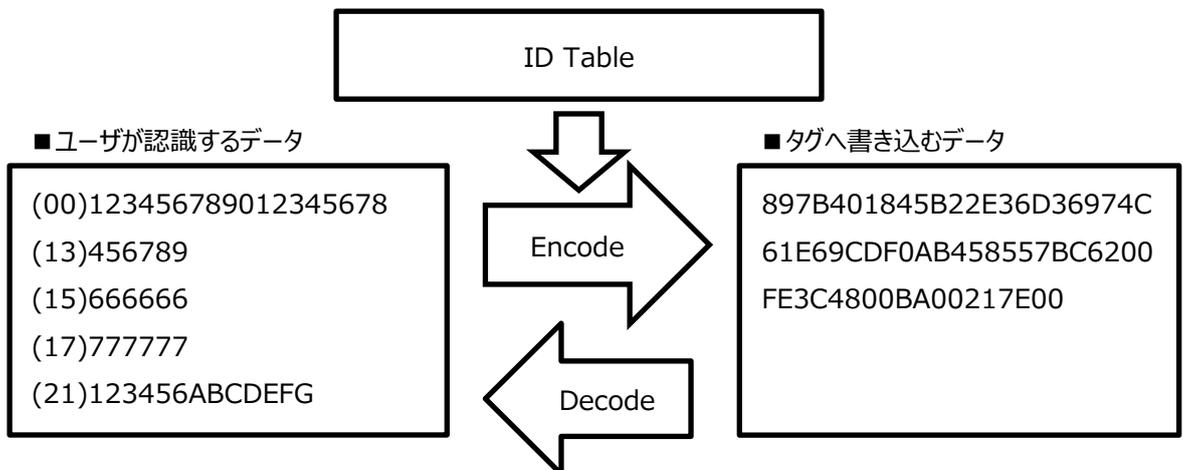


図-2. Packed Object の概要図

③Tag Data Profile 方式

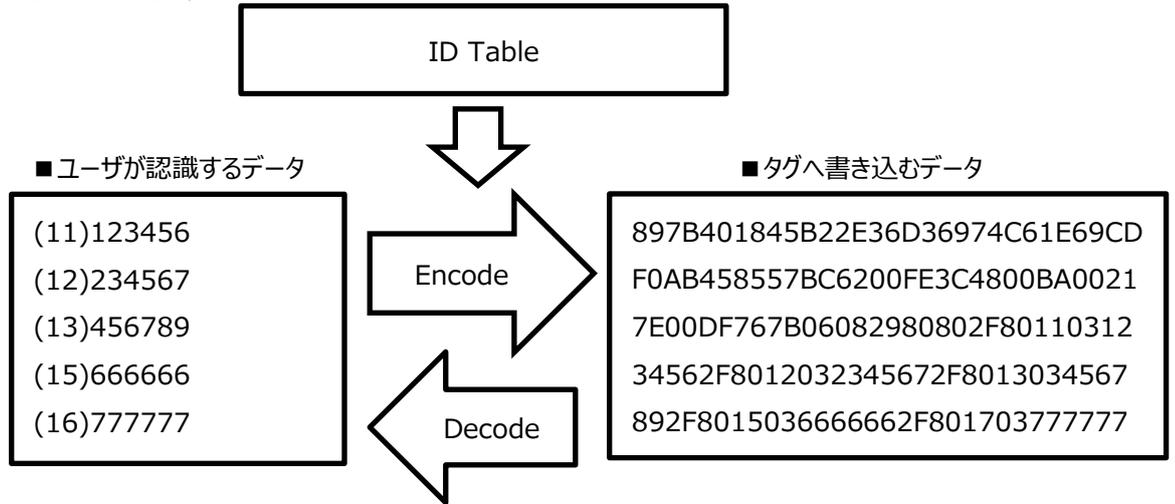
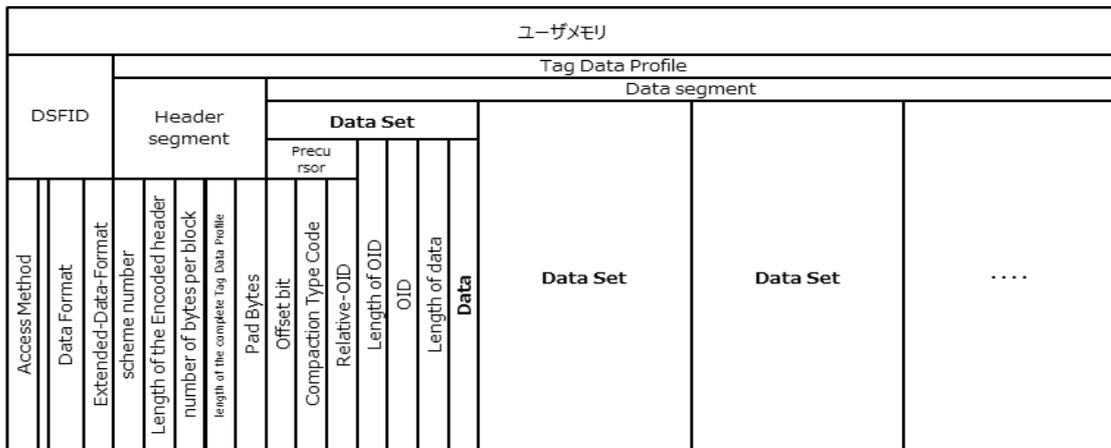


図-3. Tag Data Profile の概要図

補足 Tag Data Profile の特徴

No-directory, Packed Objects ではデータ（或いはデータセット）のアドレスは指定出来ないが Tag Data Profile では指定可能なため（DataSet により、先頭アドレスが読む前に分かる）、部分書き込みが可能となる。



→  
Data Set により、先頭アドレスがわかる

図-4. Tag Data Profile Extended Data Format  
Relative-OID 方式のデータ構造